



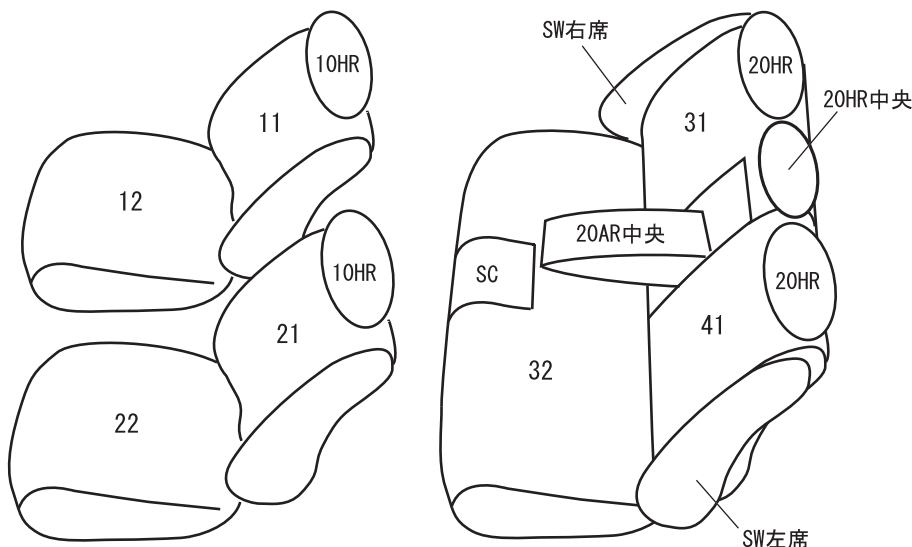
スバル フォレスター

専用シートカバー取付説明書

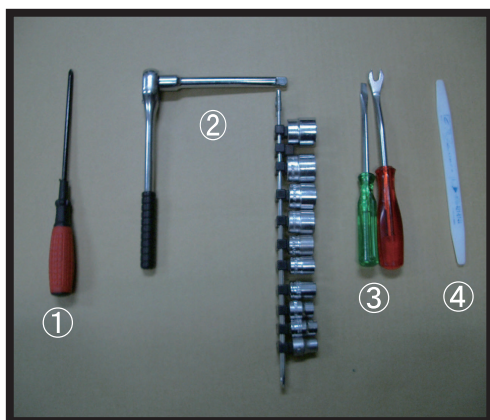
この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして、誠に有難うございます。

- * 説明書内にシートカバーの取付・取り扱い・返品等に関する注意事項等が記載されていますので、装着前に必ずお読み下さい。
- * 本書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため製品とデザインは異なります。

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



工具名

- ① +ドライバー
- ② ソケットレンチセット
- ③ ードライバーまたは内張り外し
- ④ ヘラ

*この車種では、①と②の工具を使用します。

*この車種では、③の工具は使用しません。

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地が表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地が硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがかつく残る場合があります。装着されてから約1〜2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

■SRSサイドエアバッグ装備車にシートカバーを装着される場合、正しい適合に合ったシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。

※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2024年3月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）

その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようご注意ください。

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、シートカバーの装着が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。シートカバーの装着は説明通り、正確に行ってください。

ここからはサイドエアバッグ装備車にシートカバーを取り付ける際、注意する点を説明しています。



1 SRSサイドエアバッグ展開部分は、シートの表面と側面の境界線に位置し、図の縫い目に配置されます。



3 サイドエアバッグの展開部分と、シートカバーのSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用している縫い目の位置（以降SAB対応の縫い目部分）を合わせます。
※シートのサイドエアバッグ展開部分にはシートカバーの縫い目が必ず存在します。その縫い目はSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。



2 シートを上から見た状態です。通常、サイドエアバッグ展開部分はシート表面と側面の境界に位置し、一般的には角ばった形状をしています。サイドエアバッグ展開部分はその角の頂点に位置します。



4 シートカバーをシートに取り付ける際は、シートカバーを半分ほど裏返し、シートのサイドエアバッグ展開部分とカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてから、カバーを装着します。



- 5 4番の図を拡大したものです。シートのサイドエアバッグ展開部分と、シートカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてください。



- 6 シートカバーをシート全体に取り付ける際は、5番の位置がずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



- 7 説明書に従って、シートカバーを正しく取り付けます。サイドエアバッグ展開部分とSAB対応の縫い目部分が合っているか確認します。



- 8 まず、シートの表面の中央と端の境目になる縫い目を指で押して、シートのくぼみにカバーの縫い目がしっかりと合っているかを確認します。



- 9 次に、シートカバーの表面側と側面側の生地を図のように引き伸ばし、カバーのSAB対応の縫い目部分が、サイドエアバッグの展開位置となる角ばった形状（2番参照）の角に位置することを確認します。この位置が合っていれば、シートカバーは正しい位置に装着されています。SAB対応の縫い目部分が側面側にずれていたりすると、サイドエアバッグの展開部分と位置がずれていることとなります。位置が合っていない場合はカバーの装着をやり直してください。



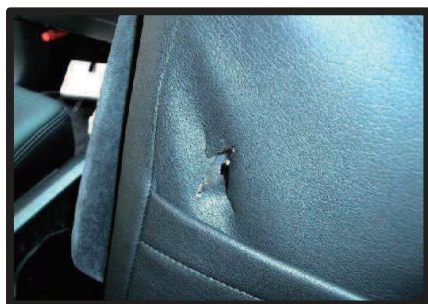
- 10 正しくシートカバーを取り付けることで、サイドエアバッグがシートカバーから正常に展開します。

コンビニフックについて

一部車種の1列目背面にあるフック部分は穴あけ加工がされておりません。フックがネジで固定されている場合、カバーを加工すれば使用することが可能です。



- ①ネジを外します。ツメで固定されている場合がありますので、取り外しには十分ご注意ください。ツメが破損すると元通りに取り付けられなくなる場合もあります。



- ②背もたれカバーを取り付けます。シート本体とカバーがずれていないかをよく確認した上で、フックの位置に切り込みをいれます。

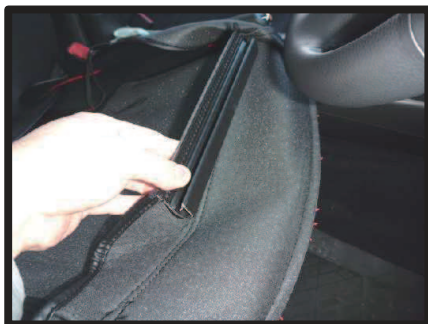


- ③切り込み部分にフックを取り付けて完成です。

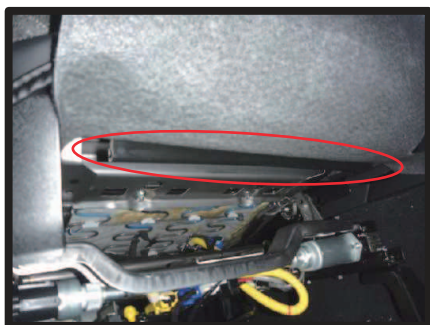
1 列目座面



①座面には、図のように前側から底面にかけて生地が付いています。生地は、図の○位置の穴にピンで留められていますので外しておきます。



④カバーの前側には、図のようなプラスチックのフックが付いています。



②外した生地をめくり上げると、図の○位置にシート本体の生地をシートに固定しているプラスチックパーツがあります。

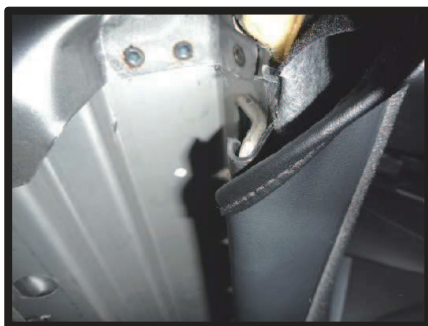


⑤カバーに付いているプラスチックのフックを②のプラスチックパーツの上から固定します。

※固定方法は巻末のプラフック大の固定を参照して下さい。



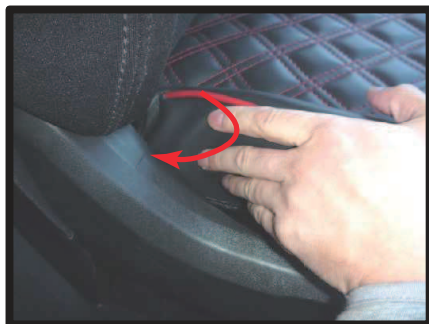
③外した生地は図のように2つ折りにした状態で、座面カバーをかぶせます。



⑥正しく固定すると、このようになります。



⑦カバーを固定した前側を支点に、シート全体へかぶせます。



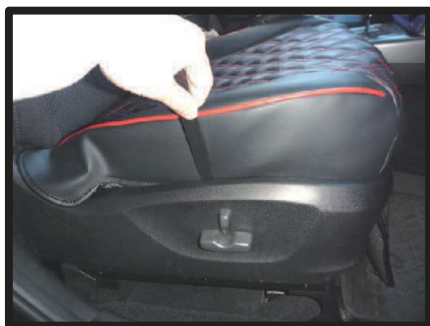
⑩背もたれ付け根付近の生地は、シートを巻き込むように入れ込みます。



⑧背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



⑪カバー内側面の生地についているゴムに、付属のS字フックを取り付けます。

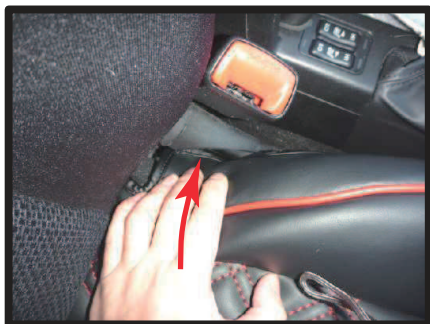


⑨カバー外側面の生地をシートのプラスチック部の隙間に入れ込みます。

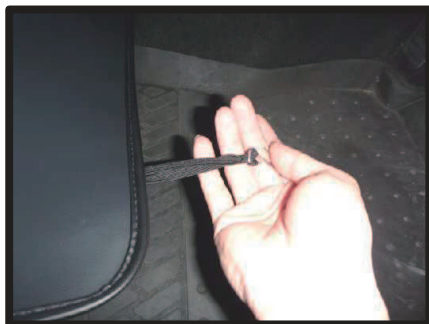


⑫S字フックを取り付けたゴムは、シートの内側面から底面に引き出し、シート下の金属部分に引っ掛け固定します。

1 列目座面



⑬内側面の背もたれ付け根付近の隙間に生地を入れ込みます。



⑭カバー前側の生地についているゴムに付属のS字フックを取り付けます。



⑮2ページ⑧で入れ込んだ生地を後ろ側から引き出します。



⑯S字フックをシート下の金属部分に引っ掛けると、このようになります。



⑰引き出した生地についているマジックテープをシートに直接固定します。



⑱カバーのラインを整え、1列目運転席側座面の完成です。助手席側も同様に取り付けます。

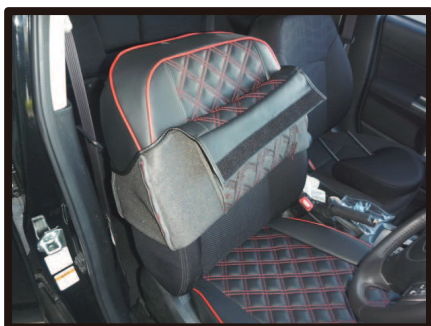
1 列目背もたれ



注意



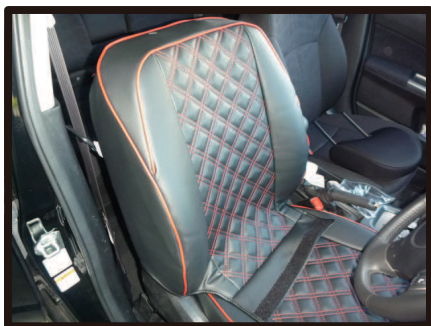
サイドエアバッグ装着車の装着方法は、表紙から4枚目と5枚目の『警告：サイドエアバッグについて』と『注意』の装着説明を併せて確認し、正確にシートカバーを取り付けてください。



①背もたれにカバーを半分程裏返した状態でかぶせます。この際、肩口までしっかり入れ込むようにして下さい。



④入れ込んだ生地を後ろ側から引き出します。



②カバーを左右均等に引き下げます。



⑤図の①～③の順番で生地をシートに馴染ませ、側面のシワを無くしていきます。



③背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



⑥ヘッドレストの台座部分をカバーの加工穴から取り出します。生地伸びを利用して横から潜り込ませるように取り出します。



⑦台座を取り出すと、このようになります。
ます。



⑩ゴムに付属のS字フックを取り付け
ます。



⑧4ページ④で引き出した生地と背面
の生地をマジックテープで固定しま
す。



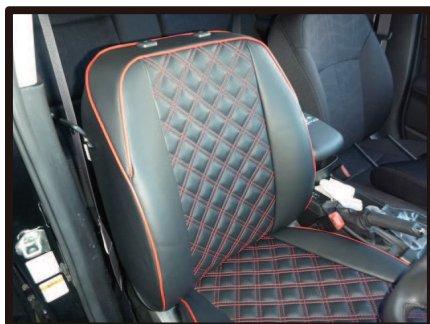
⑪S字フックをシート下の金属部分へ
引っ掛け固定します。

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、こちらの固定が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があります、危険です。



⑨カバー背面には、図のようなゴムの
付いた生地があります。



⑫サイドエアバッグ装備車は、サイド
エアバッグの展開部分とシートカバ
ーのSAB対応の縫い目部分が合っ
ていることを確認して下さい。
カバーのラインを整え、1列目運
転席側もたれの完成です。
助手席側も同様に取り付けます。

2列目座面

取付けにはシートを車体から取り外す必要があります



①初めにシート中央のリトラクタブルリヤテーブルを開き、中にあるプラスチックの板をヘラ等を使用し、外します。



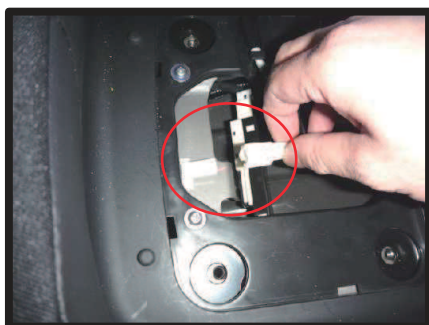
④シートは図の○位置に金具で固定されています。(左右で2ヶ所) シートの端を真上に引き上げるようにすると金具が外れます。



②プラスチックの板を外すと、中にボルトがありますので、ソケットレンチ等を使用し、取り外します。(計4ヶ所)



⑤シートを外す際に、シートベルトのバックルを取り出します。



③中央にあるコネクタを外します。



⑥シートを取り外した状態です。固定金具は、図の○位置の2ヶ所に固定されています。

2列目座面

取付けにはシートを車体から取り外す必要があります



⑦外したシートは、車外の広いスペースに移動させます。
移動の際は、車体を傷付けないよう注意して下さい。



⑩シートのラインに合わせて、カバーをかぶせます。



⑧シートを裏返し、リトラクタブル・リヤテーブルの裏側にある、図の○部のボルトをソケットレンチ等を使用し、取り外します。(計4ヶ所)



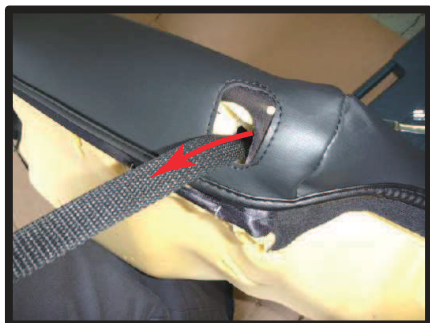
⑪シートのチャイルドシート固定用フック位置に付いている生地をめくります。



⑨4本のボルトを外すと、リトラクタブル・リヤテーブルが取り外せます。



⑫生地をめくった位置にある穴に、カバーに付いているベルトを通し、カバーをかぶせます。



⑬7ページ⑫で通したベルトは、かぶせたカバーの加工穴にも通すようにします。



⑭シートベルトバックル部にカバーをかぶせます。



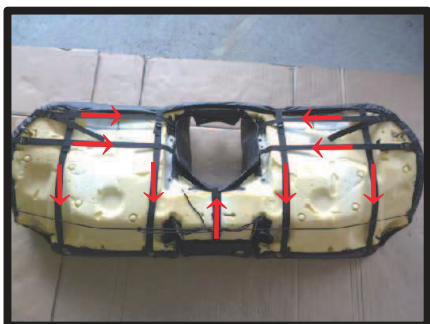
⑮シートベルトバックル部の隙間を埋める為の生地をめくりします。



⑯シートベルトバックル部裏側に付いている金具は、カバーの加工穴から取り出します。



⑰めくった生地を、そのまま内側に固定します。
※カバー装着の際、この生地は使用しません。



⑱カバーの矢印方向に付いているベルト（計9ヶ所）とカバー両端に付いているヒモを固定します。
※固定方法は巻末のベルトの通し方・ヒモの結び方を参照して下さい。

2列目補助席座面

リトラクタブル・リヤテーブルにはS Cのタグの付いたカバーを使用します



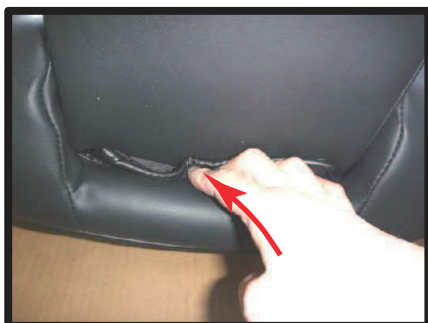
①シートのラインに合わせて、カバーをかぶせます。



④取り外した逆の手順で、リトラクタブル・リヤテーブルをシートに戻します。



②テーブルの隙間に、ヘラ等を使用し生地を入れ込みます。



⑤座面カバー前側の生地を隙間に入れ込みます。



③全ての生地を入れ込み、ラインを整え、2列目補助席座面（リトラクタブル・リヤテーブル）の完成です。

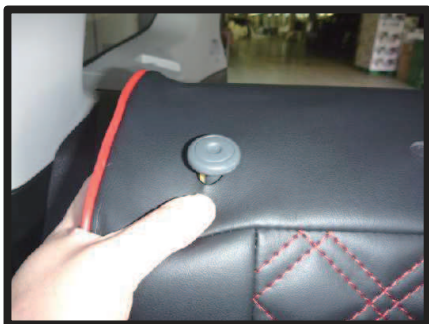


⑥カバーのラインを整え、2列目座面の完成です。
※背もたれカバー装着後に、車体に戻します。

2列目背もたれ



①初めに中央席用シートベルトガイドを取り外します。プラスチックのフタはツメで固定されていますので、ヘラ等を使用し取り外します。



④背もたれを引き倒す際に使用するノブをカバーの加工穴から取り出します。



②+ドライバーを使用しネジを外すと、シートベルトガイドが取り外せます。



⑤ヘッドレストの台座をカバーの加工穴から取り出します。



③カバー外側面のファスナーを開き、背もたれにカバーをかぶせます。この際、アームレストはかわすようにして下さい。



⑥アームレスト収納部のラインに沿って、カバーに付いているマジックテープをシートに直接固定します。



⑦背もたれの間から後ろ側へ生地を入れ込みます。



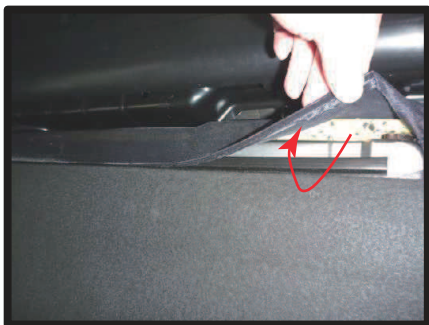
⑩⑦で入れ込んだ生地を後ろ側から引き出します。



⑧背もたれを倒した状態で、図のように背面とラゲッジスペースの隙間を覆っている生地を取り外します。生地は図の○位置に、クリップで固定されています。



⑪引き出した生地の一部に切れ込みが入っていますので、図のように背もたれから出ている配線をかわずにします。



⑨生地をめくり上げると、シート本体の生地を固定しているプラスチックパーツがありますので、図のように取り外します。

※カバーの固定も同様になりますので、取り付け方を覚えておいて下さい。



⑫引き出した生地には、⑨で取り外したようなプラスチックパーツが付いていますので、取り外した逆の手順でシート本体へ固定します。



⑬正しく生地を固定すると、このようになります。



⑭シート外側面のヒンジのあるプラスチックパーツの隙間に、ヘラ等を使用し、生地を入れ込みます。



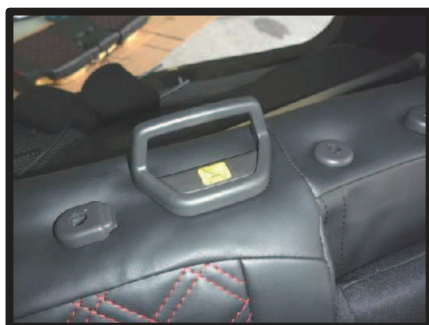
⑮カバー背面の生地は、マジックテープで直接シート背面に固定します。



⑯生地を入れ込むと、このようになります。



⑰カバー側面の生地を内へ寄せながらファスナーを閉じます。



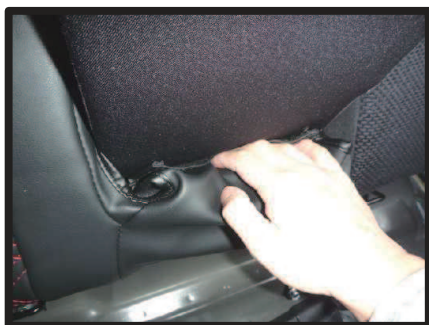
⑱10ページ①②で取り外したシートベルトガイドを元に戻します。



⑱ アームレスト下部を覆うようにカバーをかぶせます。



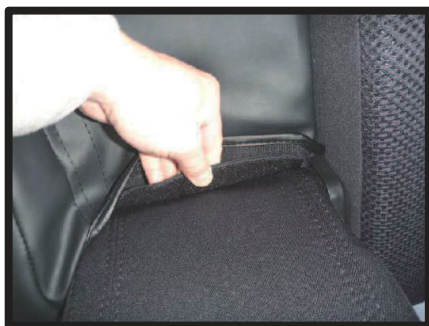
⑳ 引き出した生地とアームレスト収納部の生地をマジックテープで固定します。



㉑ アームレストの隙間に生地を入れ込みます。



㉒ カバーのラインを整え、2列目運転席側背もたれの完成です。助手席側は一部形状が異なりますが同様に取り付けます。



㉓ 入れ込んだ生地を後ろ側から引き出します。

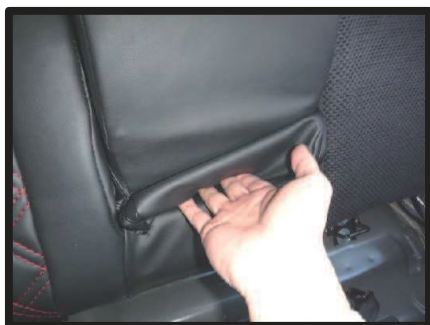
2列目アームレスト



①アームレストにカバーを半分程裏返した状態でかぶせます。
カバーにフック状のプラスチックパーツが付いている方が上側になります。



④引き出した生地をプラフックで固定します。
※固定方法は巻末のプラフックの固定を参照して下さい。



②アームレストのラインに合わせながら、カバーを引き下げ、図のようにアームレストの隙間に生地を入れ込みます。



⑤正しく固定すると、このようになります。



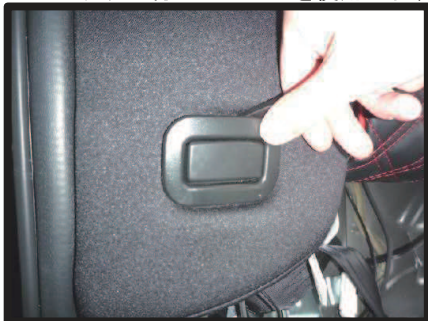
③入れ込んだ生地を上側から引き出します。



⑥カバーのラインを整え、2列目アームレストの完成です。

2列目サイドパーツ

SWのタグの付いたカバーを使用します



①始めに背もたれリクライニング用のスイッチを取り外します。隙間にヘラ等を差し込み手前に起こすようにするとスイッチが取り外せません。



④サイドパーツを下側から浮かせるようにしながら、固定されているツメを外していきます。



②スイッチが外れると、このようになります。スイッチは図の○位置にツメで固定されています。



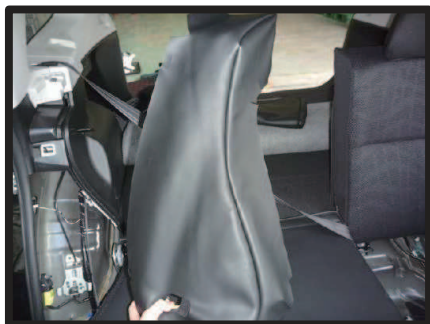
⑤上部の隙間が狭い場所は、ヘラ等を差し込み隙間を広げるようにするとツメが外れやすくなります。



③サイドパーツ下部を固定しているボルトをソケットレンチ等を使用し、取り外します。



⑥固定されているツメを外すと、サイドパーツが取り外せます。



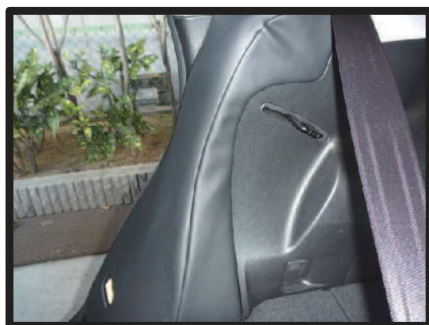
⑦サイドパーツのラインに合わせ、カバーをかぶせます。



⑩サイドパーツを車体に戻し、はみ出している生地をヘラ等を使用し、車体の隙間に入れ込みます。



⑧サイドパーツの裏側には複数のツメがあり、シート本体の生地を固定しています。カバーにも同じ位置に切り込みが入っていますので、同様にツメに引っ掛け固定します。



⑪正しく生地を入れ込むと、このようになります。

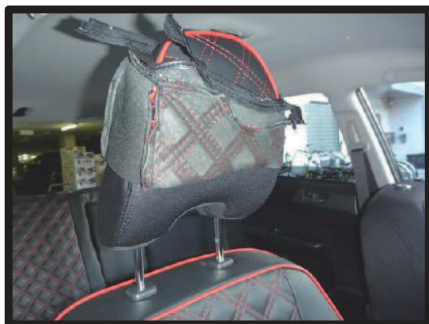


⑨カバーはこのように固定されます。ツメの無い位置の生地は、サイドパーツを戻す際に、車体の隙間に入れ込むようにします。



⑫カバーのラインを整え、15ページ①②で取り外したスイッチを元に戻し、運転席側サイドパーツの完成です。助手席側も同様に取り付けます。

ヘッドレスト



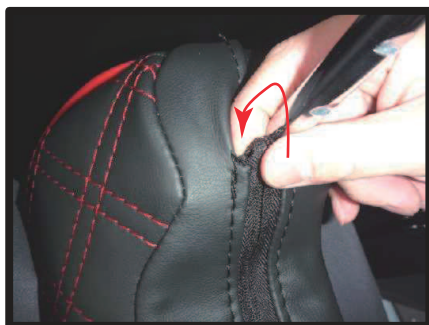
①カバーのファスナーを開き、半分程裏返した状態で1列目ヘッドレストにかぶせます。



④正しくファスナーを閉じると、このようになります。ファスナーは、ヘッドレストの軸の前側（図の上側）を通すようにします。



②ラインを合わせながら、カバーを引き下げます。



⑤ファスナーのはみ出た部分は、図のようにカバーの内側へ入れ込みます。



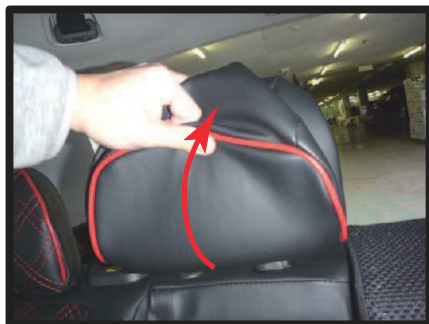
③ヘッドレストを台座から取り外し、底面のファスナーで固定します。ファスナーを閉じる際は、生地を内へ寄せながら慎重に閉じて下さい。



⑥ヘッドレストを台座に戻し、カバーのラインを整え、1列目ヘッドレストの完成です。



⑦ 2列目両端のヘッドレストは、1列目と同様にカバーをかぶせます。



⑩ 2列目中央ヘッドレストは、カバーを前側に引っ掛けるようにしながらかぶせます。



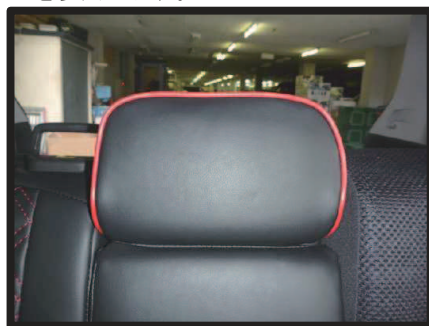
⑧ ヘッドレストを台座から取り外し、底面のブラフックで固定します。
※固定方法は巻末のブラフックの固定を参照します。



⑪ ヘッドレストを台座から取り外し、底面のマジックテープを固定した後に、ブラフックで固定します。
※固定方法は巻末のブラフックの固定を参照します。

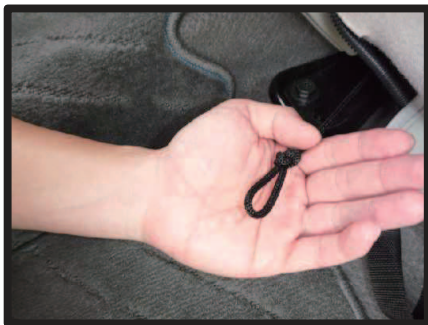


⑨ ヘッドレストを台座に戻し、カバーのラインを整え、2列目両端のヘッドレストの完成です。

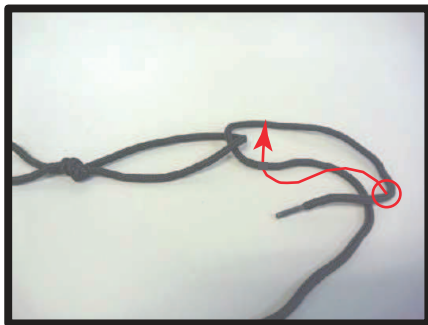


⑫ ヘッドレストを台座に戻し、カバーのラインを整え、2列目中央ヘッドレストの完成です。

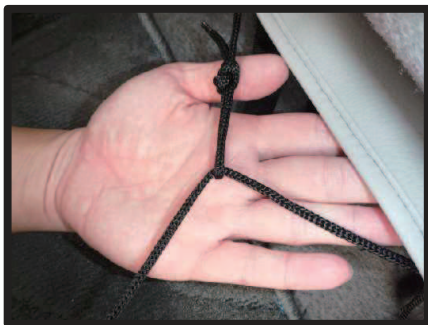
ヒモの結び方



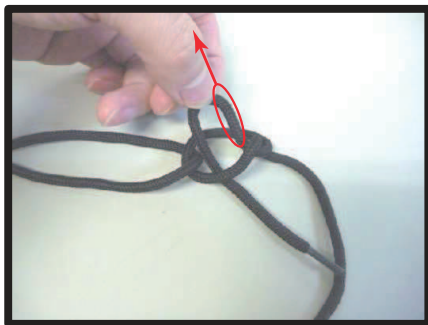
①カバー両側面に付いているヒモの一方で、図のような輪を作ります。



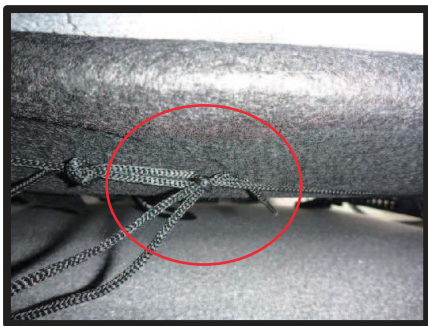
④ヒモの結び方は、引き絞ったヒモを（図の右側）輪のようにし、矢印部分をつまむようにして輪に通します。



③①で作った輪に、もう一方のヒモを通します。



⑤通したヒモの○側を引っ張ると、ヒモが結ばれます。
※ヒモの先端側を引っ張ると、ヒモは結ばれません。



③通したヒモで、シート下回りを引き絞り、結び留めます。

※ヒモを強く引っ張りすぎると切れる恐れがありますのでご注意ください。



⑥正しくヒモを結び留めると、このようになります。
この状態でヒモの先端側を引っ張ると、ヒモが簡単にほどける結び方になります。

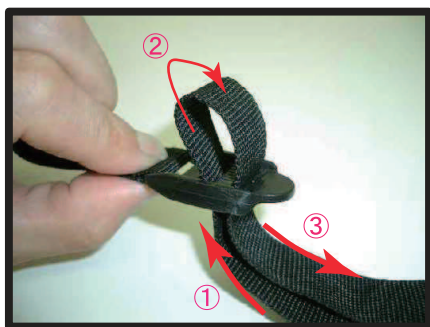
ベルトの通し方



①カバーに付いているベルトを、バックルが付いている生地側に引き出します。



②バックルにベルトを通し、引き絞る事で、カバーが固定されます。

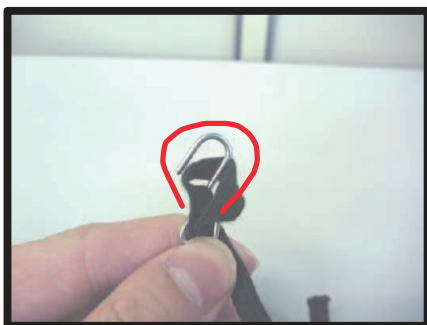


③ベルトの通し方は、図の①～③の順番にベルトをバックルに通し、引く事でベルトが締まり固定されます。
※強く引き過ぎるとベルトが切れる恐れがありますので、ご注意ください。

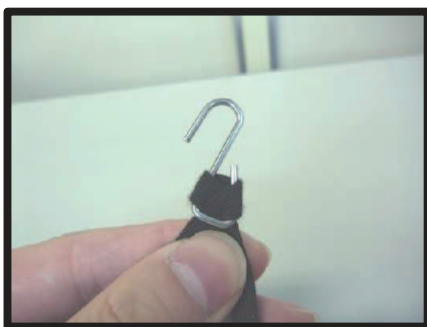
S字フックの取り付け方



①ゴムとS字フックの取り付け方は、始めに図のようにS字フックにゴムを通します。



②通したゴムを、図の赤線のようにしてS字フックにかぶせます。



③かぶせたゴムを引き絞る事で、図のようにS字フックがゴムに固定され、外れにくくなります。

プラフック大の固定

※背もたれや座面カバー等に付いているカギ状のプラスチックパーツ（プラフック）には、生地を表側に付いているタイプと生地の裏側に付いているタイプの2種類があり、それぞれ固定方法が異なります。



①生地の表側に付いているタイプ



②生地の裏側に付いているタイプ

プラフック：表側



①図のように生地の表側にプラフックが付いている場合。



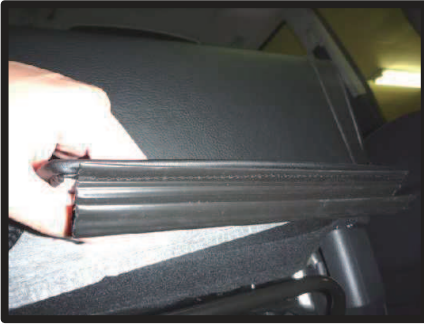
②シートの底面を見ると、図のようにシート本体の生地がプラフックで固定されている場所があります。

※例：図の○部

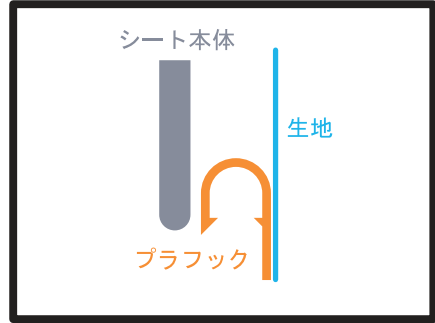


③シート本体の生地を固定しているプラフックの上から、カバーのプラフックを引っ掛けて固定します。

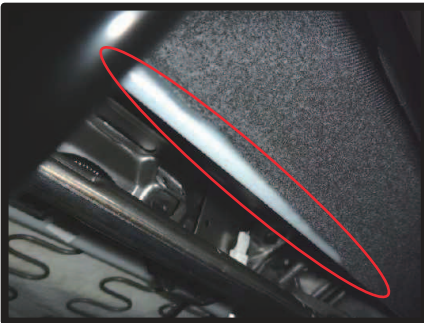
プラフック：裏側



①図のように生地○の裏側にプラフックが付いている場合。



④ここからは、分かりやすいようにイラストで説明します。



②シート○の底面を見ると、図のようにシート本体の生地がプラフックで固定されています。

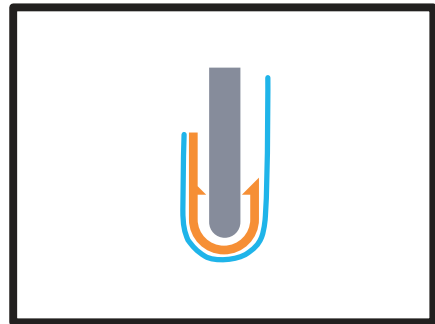
※例：図の○部



⑤プラフックは、生地と共に180度折り返し、シート本体に下から上へ引っ掛けるようにします。



③②で確認したシート本体に固定されているプラフックの上から、カバーのプラフックを固定します。



⑥正しく固定すると、このようになります。

プラフックの固定

※図は、ヘッドレストを例にしています



①ヘッドレストやアームレスト等には、カギ状のプラスチックと平らなプラスチックを使用して固定するものがあります。

※例：ヘッドレスト



②プラスチックの固定方法は、カギ状のプラスチックに平らな方のプラスチックを、生地ごと巻き込むようにはめ込み固定します。



③間違った固定方法です。平らなプラスチックのみをカギ状のプラスチックに引っ掛けるだけではしっかり固定出来ません。



④正しくプラスチックが固定されると、カバーの継ぎ目が図のようになります。



⑤間違った固定をすると、カバーの継ぎ目に、図のように平らなプラスチックの縫製糸が見えてしまいます。



⑥例で使用したヘッドレストの場合はこのようになります。

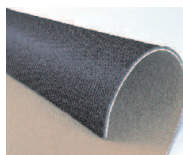


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

ウルトラスエード

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

●全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。

または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行って下さい。長時間放置しておくとも汚れやシミが取れなくなります。表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取って下さい。



PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。

それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



ファブリック

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

●シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかりと水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となりますのでしっかりと乾燥させてください。

※テニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。

